



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

平成最後の卒業生の皆さんへ

小学部、中学部、高等部卒業生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。皆さんは平成最後の卒業生となります。この5月には改元がなされます。どのような元号になるか今から楽しみです。さて30年続いた平成はどんな時代だったのでしょうか。バブル経済の崩壊から始まった平成は、失われた20年とも言われた長期の不況が続きました。未来の人たちからは経済的な発展の観点では厳しい時代だったと評価されるのですが、物や金銭を得ることよりも、もっと精神的な満足を得ることに重きを置く風潮が高まってきました。平成の時代には、自分自身の立身出世よりも、世のため、人のために役に立ちたいという気持ちを抱く若者が増えました。震災や災害も相次ぎましたが、全世代を通じてボランティア精神の高まりが見られる時代になりました。

障害者をめぐる国の施策も、障害者差別解消法の施行をはじめ障害のある人も、障害のない人も共に地域で自分の人生を豊かにできる共生社会の実現に向けた取り組みが本格的に行われるようになった時代と言えます。

卒業生の皆さんが大人になる、これからの時代には、人工知能やロボット技術がますます発達して、自動車の運転は車に任せておけるようになっていたり、一家に一台ロボットがいて、家事や介護もしてくれるようになっていたりすることでしょう。様々な国の人たちと簡単に会話ができるようになっていたり、声が出せなくてもコミュニケーションしたりすることがもっと簡単になることでしょう。便利な未来の世界で今以上に大切になってくるのが、様々なことを自分で決め、自分の気持ちや願いをきちんと多くの人に伝えることです。卒業生の皆さんは、これから新しい人たちと出会います。その出会いの場所で自分が輝いていくために、日々の生活の中で、常に心を開いて興味・関心を広げ、人とのコミュニケーションを深める「学び」を続けてほしいと思います。卒業生の皆さんが、障害のある人もない人も共に輝く共生社会の実現を担う人になることを期待しています。これからもずっと応援しています！

マレーシア教育視察団の訪問がありました

3月15日（金）にはマレーシアの教育視察団28名の訪問を受けました。マレーシアでは特別な支援を必要とする児童・生徒の教育は行われていますが、障害の程度が軽度の児童・生徒に限られているそうです。本校のように知的障害教育部門と肢体不自由教育部門を設置するような特別支援学校を視察するのは初めてとのことでした。視察団はN部門を中心におもちゃ図書館の「虹の部屋」や両部門が利用する図書室などを興味深く視察していました。S部門では医療的ケアの必要な児童・生徒も通学して教育を受けている様子に驚きを隠せない様子でした。

実はこの視察団の訪問は本校から青年海外協力隊員としてマレーシアの教育行政機関に派遣している教諭の仲介によって実現しました。日本国内で特色ある教育活動をしている鹿本学園が、海外にも範を示す機会となりました。今年の9月には、海外から研究者が来校することも決まっています。ますます鹿本の実践が世界に広がっていくを感じています。

東京江戸川ライオンズクラブからおもちゃの寄贈

3月15日（金）小学部の卒業式予行練習に集まった児童の前で、東京江戸川ライオンズクラブの長島常和様から、子供たちが心待ちにしていた、おもちゃのプレゼントがありました。ライオンズクラブ様からは毎年様々な御寄附を頂戴しておりますが、今年はミニチュアカーの「トミカ」や鉄道玩具の「プラレール」、DVD等子供たちが大好きなおもちゃを頂戴しました。

舞台上に布で覆われた寄贈品が登場すると、子供たちの視線が集まり、布を引き払って披露すると大きな歓声が上がっていました。児童を代表して、以前から「虹の部屋にトミカとプラレールがほしい！」と言っていたN小学部2年の児童が心のこもったお礼の言葉を述べ、長島様も感動されていました。

地域のライオンズクラブ、法人会の皆様方からの御支援を子供たちの笑顔につなげるよう、今後とも地域との連携と教育環境の充実に努めて参ります。

鹿本学園校長 庄司 伸哉

卒業に寄せて

S部門 小学部

6年生の皆さん、御卒業おめでとうございます！

6年生の1年間は、春から大忙しで、大きな行事が続きました。運動会では応援団という6年生ならではの出番。移動教室では、5年生のときの経験をもとに、見通しをもって落ち着いて行動ができました。修学旅行は雨のディズニーランドでしたが、一生忘れられない思い出になったのではないかと思います。虹輝祭は初めて体育館で発表しましたが、一人一人が主役になって、緊張に負けず、楽しんで発表することができました。一つ一つの行事を乗り越える度に、たくましく、輝く皆さんの姿がありました。そして、学年の仲間を認めあい、意識しあい、「みんなといるとなんだかとっても心地がいい」学年集団になりました。卒業の日を迎え、新たな一步を踏み出す皆さん。大丈夫です。今まで培ってきたたくましさは、もう自分のもの。そして、友達や先生としっかりつながれる力もまた、自分のもの。すてきな中学生になってください！ずっと応援しています。

S部門 小学部6年担任一同（文責 大庭 みな）

N部門 小学部

6年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

入学して6年、早いもので小学部の卒業を迎えました。6年間、日々いろいろな学習に取り組む中で、皆さんは小学部の4つの目標を達成しました！ ①朝体育や体育で体身体を鍛え、すすんで体を動かし丈夫な身体をつくることができました。運動会や連合運動会の活躍も素晴らしかったです。②毎日の学習の中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする力を身に付けてコミュニケーションの力を広げることができました。虹輝祭では、友達と一緒に協力して立派に発表することができました。③移動教室や社会見学、買い物学習等を通して、社会のルールやマナーを知り、場に応じた行動ができるようになりました。修学旅行では、人混みの中落ち着いて列に並ぶことができました。④着替えや係活動等にすすんで取り組み、自分でできることは自分で行う力を身に付けることができました。卒業式の練習では、式服に着替える練習を何度も行い、中学部に向けてできることを増やしました。28名全員、小学部の全課程を修了しました！ 4月からは自信をもって中学生になってください。

N部門 小学部6年担任一同（文責 多々見 彩子）

S部門 中学部

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

「光陰矢の如し」早いもので入学したと思っていた皆さんが、3年間を経て、卒業式を迎えました。6名の仲間が協力し助け合い、絆を深めてきました。誰とでも仲良く過ごす姿は、家族のようでした。

中学部3年間で心も身体も大きく成長しました。修学旅行や移動教室では、自立を意識しながら活動に取り組み、終了した後は一回り成長しました。また、スポーツフェスタでの活躍はとても素晴らしかったです。虹輝祭では、3年間劇の発表に取り組み、友情・家族の愛・信じる気持ちをテーマに、一人一人の日頃の学習成果を発表できました。全員で協力し合い、達成感を得られたことは、大きな自信となりました。

中学部で培ってきた力を高等部でも発揮し、更にいろいろなことにチャレンジしながら、より一層皆さんの世界が広がることを願っています。これからも全力で応援しています。

S部門 中学部3年担任一同（文責 渡部 二三子）

N部門 中学部

中学部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。小学部を出たばかりのあどけない、ふわふわした頬の31名が3年間の月日を経て大きく成長し、高等部へと旅立っていきます。皆さんは温かく素直な心を持ち、友達と仲良くしながら真っ直ぐに伸びてきました。スポーツフェスタや虹輝祭で見た演技は、皆さんの純粋な人柄そのものでした。皆さんと体験した移動教室や修学旅行の思い出は、過ぎ去った今思い起こすと、二度と同じことのできない宝石のような輝く時間です。高等部へ進学するにあたり、2つのお願いがあります。1つ目は「できることを増やしてください。」どんなことでもあきらめないで練習をしてください。できることが増えると自信につながります。2つ目は「誰かに喜んでもらえるような仕事をしてください。」高等部は社会に出る準備をするところです。皆さんは高等部でたくさん学び、社会へと羽ばたいてください。そして自分の役割をもって、頑張ってもらいたいと思います。私たち中学部の3年担任一同は、皆さんの御成功を祈るとともに、いつもどこにいてもエールを送っています。

N部門 中学部3年担任一同（文責 加藤 陽子）

S部門 高等部

人生を時計（24時間）で表す話を聞いたことはあるでしょうか？この時計は、3年で1時間進む時計です。0時に生まれてきた皆さんは、この時計でいうと今6時。高等部を卒業して、それぞれの進路に巣立つ皆さんは、今ちょうど明け方。夜明けの時間に立っているわけです。毎日を思い返してみてください。朝の時間はとてもあわただしく、それぞれの進路先に巣立った後も、初めての仲間や慣れない環境など、まだまだあわただしい日常が続くかもしれません。それぞれのペースでこの朝の準備を行い、これからの人生に備えてください。

そして、皆さん素敵な大人になってください。皆さんそれぞれが素敵な輝きを放つ、素晴らしい人たちです。卒業は新たな物語のスタート「物語はここから始まるのだ（手塚治虫）」。皆さんのこれからの期待し、よき出会いを祈っています。御卒業おめでとうございます。

S部門 高等部3年担任一同（文責 田口 宏昭）

1月～3月のアクシデント・インシデント報告

【アクシデント報告 2件】

転倒：0件 転落：0件 誤食：0件 遊出：0件 他傷：0件 その他：2件

【インシデント報告 4件】

本校では、職員朝会や全校連絡会を通して、事故の起きた原因や対策について共通理解を図り、同じような事故が起きることを防いでいます。また、重篤な事故の場合は、事故対策委員会を開き、事故の再現や原因の分析、対策の検討を行っています。

事故の原因としては、児童・生徒の実態の理解不足や、環境設定、指導者の支援方法などが挙げられています。授業の流れを確認するなかで、予測される動きを打ち合わせ、環境設定や支援方法が適切であるかどうかを確認すること、いつもと違う様子が見られたときには、複数の目で確認することなどをさらに徹底し、事故防止に努めていきます。

今年度の事故総数は、8件でした。新年度を迎えるにあたり、今年度の事故を見直し、事故の起きた原因や対策について共通理解を図り、万全の指導体制で、臨めるようにしていきます。